

80社以上が利用開始！

トレードワルツが進める貿易デジタル化

-2025年は日本の貿易DX飛躍の年-

株式会社トレードワルツ 営業本部



目的外使用・開示・無断複製・転載禁止

本資料（添付資料を含む）は、株式会社トレードワルツが著作権その他の権利を有する営業秘密です。

当社の許可なく複製し、利用すること、また漏洩することは「著作権法」「不正競争防止法」で禁止されています。



目的外使用・開示・無断複製・転載禁止

会社概要

会社名	株式会社トレードワルツ
代表取締役 社長・CEO	佐藤 高廣
設立年月日	2020年4月1日（同年11月より事業開始）
URL	https://www.tradewaltz.com
株主一覧	・株式会社エヌ・ティ・ティ・データ ・豊田通商株式会社 ・東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 ・住友商事株式会社 ・三菱商事株式会社 ・株式会社TW Link（兼松JV）※ ・東京海上日動火災保険株式会社 ・株式会社三井住友銀行 ・豊島株式会社 ・株式会社上組 ・株式会社フジトランス コーポレーション ・三井倉庫ホールディングス株式会社 ・株式会社日新 ・株式会社三菱UFJ銀行 ・丸紅株式会社 ・三菱倉庫株式会社 ・株式会社みずほ銀行 ・損害保険ジャパン株式会社
Mission	Create the Future of Trade / 貿易の未来をつくる
事業内容	貿易プラットフォーム「TradeWaltz®」をSaaS提供・運営（2022年4月～）
ISMS認証	ISO/IEC27001・IEC27017取得（2022年2月） 

※TW Link（JV）：兼松株式会社、鈴江コーポレーション株式会社、川西倉庫株式会社、大東港運株式会社、富士倉庫株式会社 で構成されるTradeWaltzを普及するための戦略投資会社

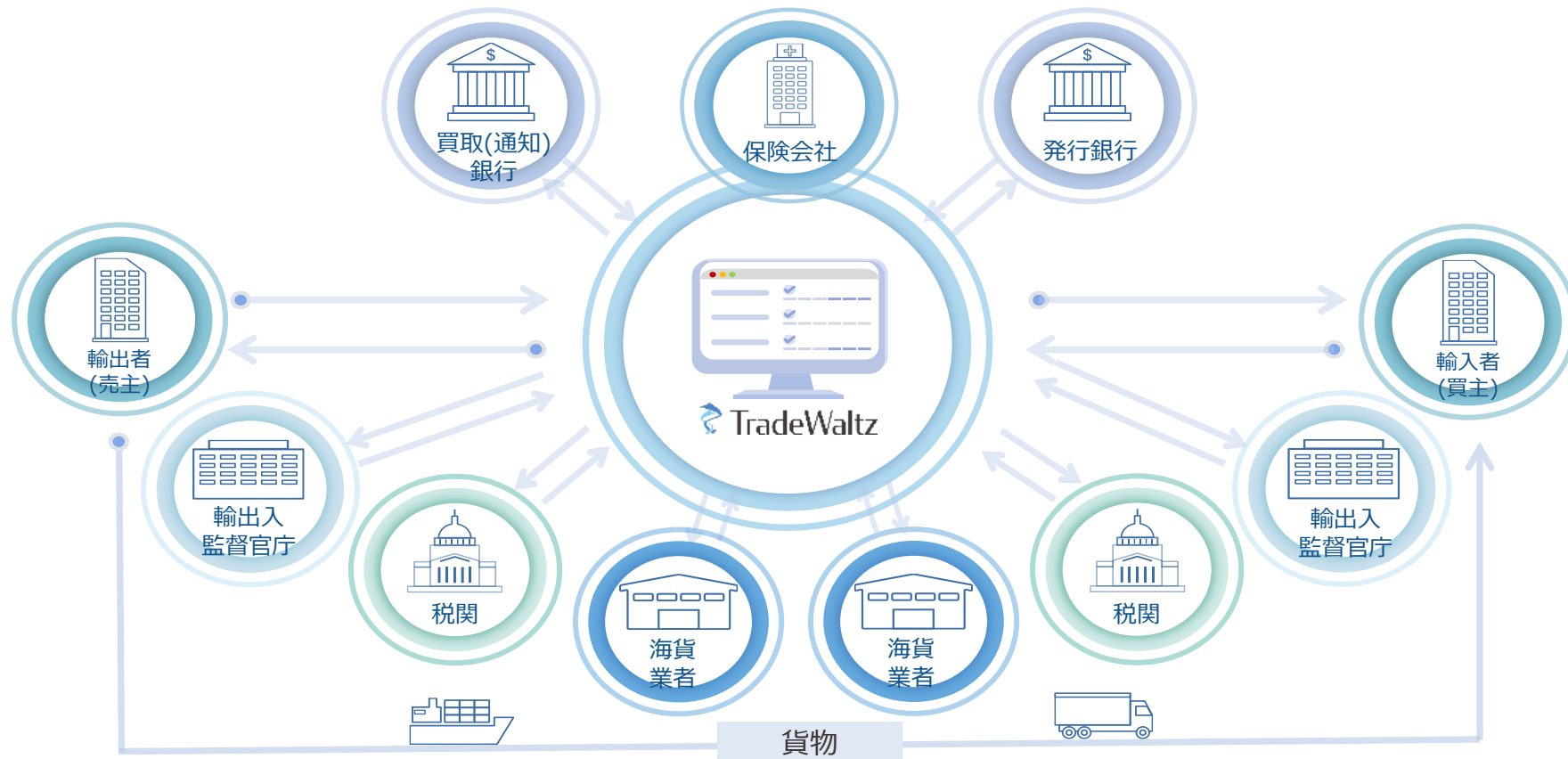
産官学連携ALL JAPAN体制で貿易電子化に取り組む 国内唯一の貿易プラットフォーム



ブロックチェーン技術を活用して貿易関連企業が業界の垣根を越え、
データを直接共有できるエコシステムの実現を目指す

ブロックチェーンを活用した新しい貿易の形(ToBe)をTradeWaltzが提案

- TradeWaltzは、高い信頼性のあるブロックチェーン(分散台帳技術) 基盤上に、貿易関係者が一気通貫で情報共有できる貿易プラットフォームを構築し、事務の手続き効率化/利便性向上を目指します。
- TradeWaltzが目指すべきは、荷主、物流、金融、政府の情報を結び、貿易に関わる方の手続き効率化/利便性を向上させることです。実物流の分野に進出し物流業務を行うことはなく、物流業者様への情報流通を通し業務効率化を推進します。



物流情報を管理、更新、共有することで関係者間の確認作業がスムーズに

取引一覧

+ Trading

1-17 of 17

表示したい項目、順番、列の幅は
輸出、輸入の必要情報に合わせてカスタマイズ可能

フロー名	B/L No.	本船名	積込港	ETD/BL日付	仕向港	ETA	最新ETA	コンテナ 本数	輸入通関予定日	納品日	倉入れ場所	フリータイム
原料：A / XX食品向け	MSC5675613	MSC WALTZ	LONG BEACH...	2024-11-19	TOKYO - TOKYO <JPTYO>	2024-12-15	2024-12-18	5	2024-12-18	2024-12-25	A-SOKO	2024-12-27
原料：B / XX食品向け	TSI7471223	TS TANGO	LONG BEACH...	2024-12-01	YOKOHAMA - KANAGAWA <JPYOK>	2024-12-15	2024-12-16	10	2024-12-19	2024-12-23	B-SOKO	2024-12-25
原料：C / YY製菓向け	ONE9093312	ONE WALTZ	LONG BEACH...	2024-12-17	YOKOHAMA - KANAGAWA <JPYOK>	2024-12-27	2024-12-28	3			B-SOKO	2025-01-08

物流情報が一覧で把握できることで次の手配をスムーズにできる！
メールでの管理と比較して業務の手配漏れを減らすことができる！
物流情報をチーム内で共有できるから、担当者が不在時でも状況把握が簡単に！

XX食品様から追加で急ぎ納品のオーダーが入った
FWD A社のデバン日が25日だから27日納品可能と
先方に案内できそうだな
日程一覧が可視化できると事前準備がしやすいな♪
以前は物流情報を全FWDに電話確認していたから、
かなり時間がかかっていたんだよな

メール、電話の時は物流情報を各自管理していたから、
担当者1人しか把握できなかったけど、TWにログインする
ことで**情報をチームのみんなで共有できるようになった**
別チームにも使わせることで社内の問い合わせ対応も
業務改善できそうだから社内展開しよう♪

荷主企業



担当者



管理者



TradeWaltz

FWD企業



担当者



管理者

デバン日程と倉入れ場所が決まったので更新、共有！
メール、電話での問い合わせが前より減ったわ♪
一覧で案件が表示されるから、メールで連絡と管理していた
頃と比べて連絡を忘れていたものがすぐに把握できる
**手配済か未手配かの確認にも使えて、業務の手配漏れが
以前より減ったわ！**

**担当者が不在時でも荷主からの問い合わせにスムーズに
回答できるようになった**
以前は担当者不在時に状況を把握するのが大変だったんだ
TWで物流日程を管理するようになってから、荷主に対して
何を連絡すればいいかが明確になって、引継ぎが楽になったと
いう声を部下から聞くようになったぞ

ファイルの送付状況が可視化でき、確認作業の負担が軽減、後工程の遅延を事前に防ぐ

輸入通関一覧

※開発中画面のため実際のTradeWaltz画面と異なる場合があります

1-8 of 8

取引名	プロセス	プロセスメモ	ステータス	インボイス番号	INV	P/L	B/L	COA	A/N
XXX商材/ FWD A社依頼分	輸入荷捌依頼 2	Arrival Notice 送付	Input in Progress	241205AX					
XXX商材/ FWD A社依頼分	輸入荷捌依頼 1	輸入書類送付(BL,INV,PL,COA)	Input in Progress	241205AX					

どの書類をあと送ればいいのか、あと何の書類が不足しているかの確認が簡単にできる！
簡単に確認できるから、催促の連絡も以前よりも気軽にできて後工程が予定通りに進む！
確認のコミュニケーションが気軽に取れることで、エクストラ費用の発生を抑制できる！

FWDに送付していない書類はあと何があったかな、
TWにアクセスしたらCOAとA/Nが未送付とすぐにわかった
シッパーと船社に連絡して2つの書類を入手しなきゃ
一覧画面から未送付書類の確認ができて便利になった！
この案件急ぎのデバンを依頼していたから予定が変更にならなくてよかった♪

一覧で書類の添付状況が確認できるから、事後調査対応の時のチェック機能として使えるな
今まで各担当者に任せていたものが可視化されて、管理しやすくなったことで、社内コンプライアンスの強化にも繋がったぞ

荷主企業



担当者



管理者



TradeWaltz

FWD企業



担当者



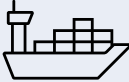
管理者

入港が明日だからDO交換しなきゃ
Arrivalって入手してたっけな。。。TWにアクセスしたらA/NだけでなくCOAも未入手なことがすぐにわかった♪
TWを利用前はどの書類を入手したか確認のためにメールを全て見返すのが大変だったのよ！

書類の送付状況が一覧で可視化されたことで、担当者が荷主への催促の連絡がしやすくなったという声をよく聞くぞ！
デマレッジやキャンセル料のようなエクストラ費用は負担範囲の責任定義が難しく、交渉が難航することが多かったけど、送付状況の確認が簡単になったことでエクストラ費用の発生自体を減らせているみたいだな♪

海貨業者様、物流業者様の各プレイヤーの役割と取り組み状況

一部機能をすでにリリース済
物流業者様のご意見を聞き
順次機能をアップデート予定

FWDプレイヤー	役割	関連プレイヤー
 CS担当	対荷主の連絡窓口 荷主からの依頼を基に各FWDプレイヤーと連携し手配を行う (輸入の場合特に) 動静の変更により、通関、ドレー日程が変更になるケースも多く、動静がキー情報となることが多い	荷主 FWD全プレイヤー
 営業担当	対荷主の料金関係の窓口 見積もり依頼を受けて、それに応じた見積もりの提出と提案を行う 依頼内容によってNVO、運輸、倉庫とコミュニケーションを取り、仕入れ値を確認して最終的な見積書の作成、提出、交渉を行う	荷主 FW
 通関担当	CSから連携を受けた荷主の書類を基にNaccs入力を行い輸出入申告などを行う →HSコードの割り当て、申告データの作成のための価格の計算や加算要素の計算などを行う 入港日翌日積みなどタイトなスケジュールで申告を行うこともよく発生し、至急案件に対応するために本船動静情報も重要な情報となる	CS担当 税関
 NVOCC	対船社との窓口 船社と交渉し仕入れ値や条件を調整する CS担当や営業からの依頼を基に条件に適したBKGを行い、出航後House B/Lの発行を行う 各船社HPやメールでBKGを行うのが一般的	CS担当 営業 船社
 運輸担当	CSからの依頼を基に運送会社と連携しコンテナの運送(ドレー)手配を行う 運送会社との連絡はほとんどが電話、確定手配の依頼書はFAXで行うケースが多い (運送会社との関係性によるが)ピッキング日の1~3営業日前よりキャンセル料が発生するため、CS担当は入港遅れ情報を運輸課と連携しながら手配の微調整を毎日行う	CS担当 営業 倉庫 運送会社
 倉庫担当	CSからの書類を受領後、作業会社と調整し入庫の手配を行う 作業日、作業場所をCS担当に連絡し、CS担当は運輸課でドレーの調整、通関課に作業日より前に通関を切るように指示する 当日の配送状況の遅れは運輸課と直接連絡を取りながら作業を行う 入庫報告書やダメージ報告などは直接荷主送るケースが多い	CS担当 営業 運輸課
 請求担当	営業からの見積書を基に料金単価の登録を行い、実作業完了後にCS担当から数量等の情報を受けて請求書を発行する 請求書発行後にCS担当に渡してCSから荷主へ送るケースと請求担当から直接送るケースに分かれる CS担当や営業担当がこの役割を担う会社も多くなる	CS担当 営業 (荷主)

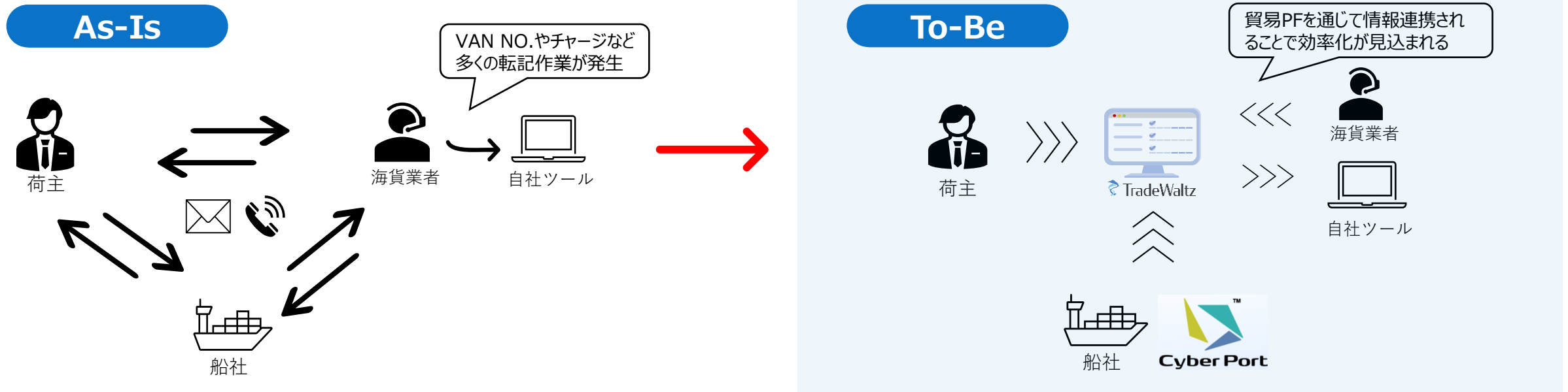
NEXT

政府及び船社様への要望

- 政府及び船社様への要望は以下物流情報が電子データで開示され、Cyber-Port様経由もしくは船社様より直接その情報が容易に取得できることを要望させていただきます。
- 海貨業者様は荷主様から入手した書類の情報をコンテナの運送手配や通関申告のような後続業務を行うために、必要情報を再度自社ツールに手入力するケースが多く散見されます。
- 貿易PFを通じて以下の物流情報が荷主及び海貨業者がデータで入手できることで後続業務がスムーズに進むことが予想されます。

➤ 【電子データでの開示を要望する物流情報】

- ・B/L情報
- ・Arrival Notice情報(チャージ情報含む)
- ・Booking Confirmation情報



Create the Future of Trade

貿易の未来をつくる



TradeWaltz